

2010年4月10日[土]—6月13日[日]

観覧時間：午前10時—午後6時(入館は午後5時30分まで) 休館日：月曜日(5月9日は祝日)・5月9日[水]

観覧料：一般 500(400)円 / 高校・大学生 300(240)円 ()内は20名以上の団体料金 ※中学生以下および障害者手帳をお持ちの方は無料

※「旅路の日」(6月13日[日])は無料 ※「家路の日」(4月18日[土]・5月16日[日])は中学生以下のお子様同伴の「家路」は無料

※本展チケットにて同時開催「THE LIBRARY ASHIKAGA」もご覧いただけます ※本展チケットは(フリーパス券)としてご利用いただけます

主催：足利市立美術館 / 読売新聞社 / 美術部連絡協議会 協賛：ライオン / 清水建設 / 大日本印刷

協力：(株)足利市みどり文化・スポーツ施設 / 東武鉄道(株)

足利市立美術館 〒326-0814 栃木県足利市湯下7丁目14-1 Tel. 0284-43-3131 www.watv.ne.jp/~ashibi

カ

イ



YASUI Toshiya
安井 敏也
《I》 2001年 キャンバス・油彩
181X182cm

「空想のリアリティー」



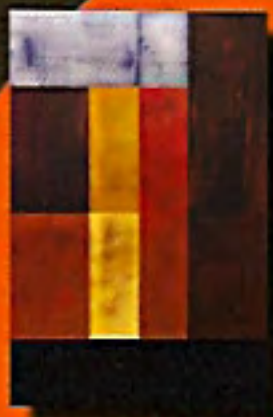
EINO Kuroki
上野 俊一
《Gグハイ》 1998年
キャンバス・アクリル絵具 91.5X132cm



MUTSA Karahira
本田 和博
《日常風景》 2007年 布地、スタイロフォーム板・油彩、アクリル絵具
110X25cm

同時開催
「THE LIBRARY ASHIKAGA」
40名の美術館による「ブック・オブ・アート」の展覧会

カ の ガ



MASAHIRO Hirahara
平原 辰夫
《無題》 2007年
パルレー・アクリル絵具
170X170cm



MAKOTO Kawanishi
岡田 真宏
《Chrysanthemum》 2006年
油彩・墨・白土 150X200cm

「世界の断面である私」



SEIICHI Uchikawa
内海 聖史
《藍色の夢》 2009年 キャンバス・油彩 300X350cm
*制作・2009年



SHIGEO Kuroki
黒根 信雄
《無題》 2009年
キャンバス・アクリル絵具
180.1X136.5cm

Ashikaga Museum of Art
足利市立美術館

イ

キ

カイガ イのイ キ

絵画は、美の味わいをもたらすだけでなく、日常の中では出会うことのない、現実の別の姿を垣間見せてくれます。それはどこからやってくるのでしょうか。

画家は、かつて見た光景や体験したこと、記憶、感じたことや思い描いたことなどを心の中に積み重ね、自身の世界観をつくり上げてきました。これは、形と色彩によって画面に表され、そこから私たちは、画家の意識の内にある未知の光景に触れるのです。そして制作の過程では、世界観を創作に変えるための、技と心のたゆまぬ探求が行われます。そこに、絵画ひいては芸術の原点があるように思われてなりません。

今や絵画は、新たな技法や素材を取り入れて、実に多彩な様相を示しています。その一方で、外見の豊かさの中にその本質が埋もれつつあります。そうした中でこそ、いったん原点に立ち帰ることは大きな意味を持つといえるでしょう。

この展覧会では、上野慶一、内海聖史、岡田真宏、黒須信雄、平原辰夫、本田和博、安井敏也の作品を紹介いたします。7名は、空想した景色を描いたものや、色彩で自身の心を表したものなど、制作のテーマや手法は大きく異なりますが、思いを込めて「描く」先に自身の世界観を表現するという、絵画の原点にもとづいた活動を続けてきました。その中でつくられた作品は、絵画の真の力を体感させてくれます。それは、私たちの意識の奥底をふるわせ、一人一人の心の内にもある、「世界」に対する思いを確かめる手がかりになるでしょう。

関連プログラム

①アーティスト・トーク

上野慶一／内海聖史／黒須信雄／本田和博
日時：4/10[土] 午後1時30分～2時30分

②学芸員による作品解説

日時：4/18[日]、5/1[土]、5/9[日]、5/15[土]、5/30[日]、6/13[日]
各日 午後1時30分より40分程度

※①②とも参加希望者は、当日開始時刻に美術館入口受付までお集まり下さい。
※①②とも参加は無料ですが観覧料が必要です(高校生以上、6/13を除く)。

③シンポジウム「絵画の原点をめくって」

上野慶一／内海聖史／岡田真宏／黒須信雄／平原辰夫／本田和博／安井敏也
司会：福原誠司(当該学芸員)

日時：5月2日[日] 午後2時～4時 会場：足利市立美術館多目的ホール
定員：80名

※参加ご希望の方は電話(0284-43-3131)にてお申し込みください。
※定員になり次第締め切らせていただきます。
※参加は無料ですが、展覧会をご観覧の場合は観覧料が必要です(高校生以上)。

[同時開催]

「THE LIBRARY ASHIKAGA」

45名の美術家による「ブック・オブ・ジェ」(本のかたちをした作品)の展覧会。

フリーパス券

本展チケットは、初回入館時にご登録いただくと、ご本人様に限り会期中何度でも繰り返し入場が可能な、フリーパス券としてご利用いただけます。

Ashikaga Museum of Art

足利市立美術館

〒326-0814 栃木県足利市通2丁目14-7

Tel.0284-43-3131 www.watv.ne.jp/~ashi-bi

[交通案内]

電車：JR両毛線足利駅・東武伊勢崎線足利駅下車、徒歩7分

バス：足利市生活路線バス「美術館前」下車

車：東北自動車道「佐野・藤岡IC」より30分

北関東自動車道「太田・桐生IC」より15分

お車でご来館の方は下記駐車場をご利用ください。

美術館前広場駐車場(無料)、美術館駐車場(徒歩2分/無料)。

足利学校東駐車場(徒歩5分/無料)、いぶき駐車場(徒歩2分

/有料ですが観覧者には1時間分のコインを差しあげます。駐車券をご提示ください。渡良瀬緑地多目的広場駐車場(徒歩5

分/有料ですが観覧者には駐車料金を払い戻しいたします。領収書をご提示ください)

詳細はホームページをご覧ください。



上野 慶一 UENO Keiichi

1966年生まれ。絵画の成り立ちを探り、視覚の上での巧妙な仕掛けと、自身が仕立てた空想の物語を組み合わせた作品が展開する。

《4/4ハイ》1998年 キャンパス・アクリル絵具
3点組 各91×220cm 東京都・ギャラリー・ラッセル・ナツホ



内海 聖史 UCHIYUMI Satoshi

1977年生まれ。油彩による数センチのドットを、巨大な画面に無数に描いた作品などによって、色彩がつくる空間と人との関わりが結ばれる。

《十方世界》2008年 キャンパス・油彩 サイズ可変
※撮影：日暮真人/「星のラヴィウム」セントアンヴェルネ



岡田 真宏 OKADA Masahiro

1947年生まれ。大画面の和紙などに、さまざまな色彩の鉛筆で無数の線を重ねることで「光」が描かれ、自然や大宇宙の姿がそこに浮かび上がる。

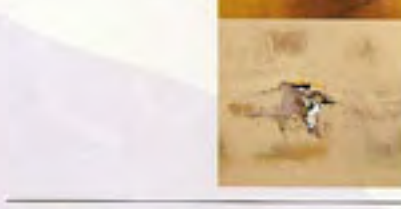
《Being XXIII「木の夢-舟載」》2006年
東京画廊・色鉛筆 183×183cm



黒須 信雄 KUROSU Nobuo

1963年生まれ。無数の「ひだ」の形が反復し、画面全体に積み重なることによって、作品の中に果てのない空間と時間が表される。

《伊勢音 No.4》2009年
キャンパス・アクリル絵具 145.5×112.2cm



平原 辰夫 HIRAHARA Tatsuo

1952年生まれ。パネルや和紙にアクリル絵具を布やスポンジなどで塗り込めた作品は、土の手触りなど、かつて体験した触感の記憶を呼び起こす。

《無題》2009年
パネル・アクリル絵具 60×45cm



本田 和博 HONDA Kazuhiro

1959年生まれ。和紙などのやわらかな下地に、鉛筆などで線一本ずつ形を込めようとして、独特のデフォルメによる風景や人物を描いている。

《無題-1》2005年 和紙、水、パネル、スタイロフォーム線、鉛筆、アクリル絵具 51×110cm



安井 敏也 YASUI Toshiya

1963年生まれ。仏教の思想などを制作のおおもとにして、軌跡に塗り重ねるような油彩の繊かな筆づかいで神話的な世界を描いている。

《北生》2004年 キャンパス・油彩
91×91cm

